

## へきしんディスクロージャー

2016年度第3四半期(平成28年12月末現在)

# 当金庫の 2016年度第3四半期の 業況をお知らせいたします。



平成28年度上半期経営報告会の開催(11月22日)



経営報告の様子

「相続・遺言セミナー」を開催(10月13日)



安城市と見守り事業者ネットワーク事業に関する協定を締結(11月18日)



野球評論家 村田兆治氏による基調講演



## 当金庫の概要(平成28年12月末現在)

創	業	昭和25年10月25日
預	金	1兆9,463億円
貸	出	金
出	資	金
会	員	数
店	舗	数
駐	在	員
店	舗	外ATMコーナー
役	職	員
長	期	発行
	体	格
	付	

## 開示項目

- 預金・貸出金の状況
- 貸出金業種別内訳
- 金融再生法に基づく開示債権
- 有価証券の時価情報
- トピックス

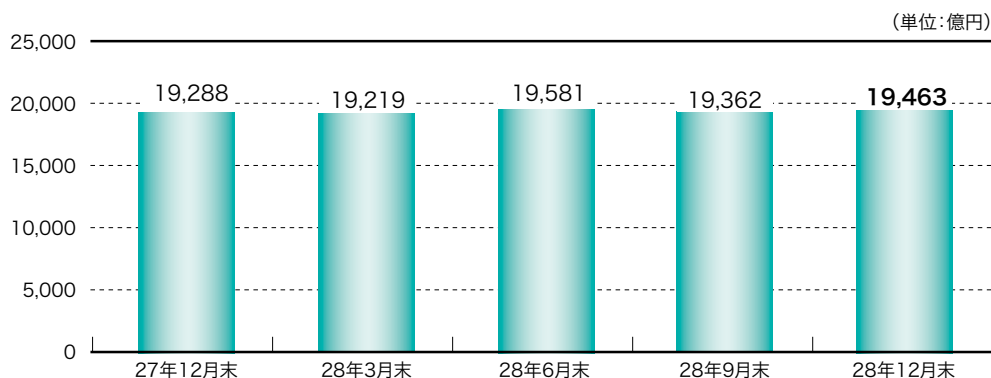
(注1)本資料に掲載している計数は、会計監査人の監査を受けておりません。

(注2)本資料に掲載している計数は、単位未満を切り捨てて表示しています。

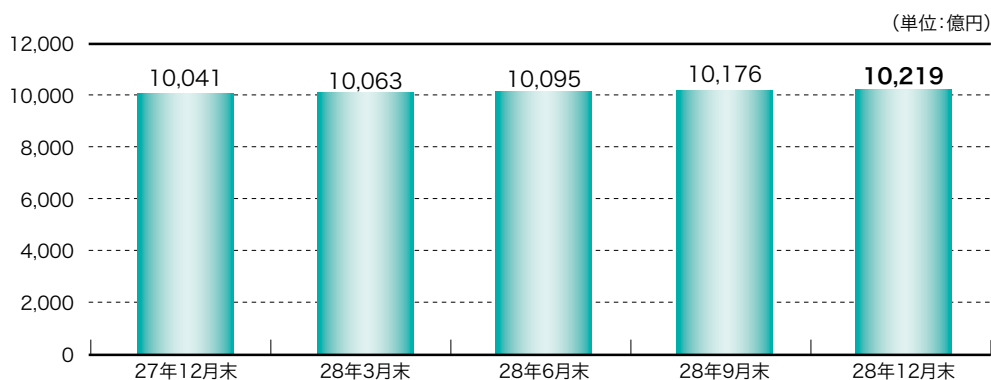
## 預金・貸出金の状況

地域の皆さまのご愛顧により、安定した経営規模で推移しています。

### 預金積金残高の推移



### 貸出金残高の推移



## 貸出金業種別内訳

地域の皆さまからお預かりした大切なご預金は、地域のさまざまな業種の皆さまにご利用いただいています。

### 業種別貸出金残高の推移

(単位: 億円)

業種	27年12月末	28年3月末	28年6月末	28年9月末	28年12月末	
					残高	構成比
製造業	1,590	1,588	1,578	1,580	1,569	15.3%
不動産業 (うち個人による貸家業)	1,860 (1,334)	1,888 (1,347)	1,910 (1,359)	1,899 (1,355)	1,895 (1,352)	18.5% (13.2%)
サービス業	1,059	1,055	1,050	1,054	1,049	10.2%
卸売・小売業	799	775	772	775	767	7.5%
建設業	559	563	527	546	572	5.5%
個人	3,121	3,172	3,230	3,306	3,363	32.9%
その他	1,050	1,020	1,026	1,013	1,001	9.8%
合計	10,041	10,063	10,095	10,176	10,219	100.0%

(注)個人とは、会社にお勤めのお客さまなど、非事業者のお客さまを指します。

## へきしんディスクロージャー

2016年度第3四半期(平成28年12月末現在)

## 金融再生法に基づく開示債権

不良債権については、地域経済への影響を十分に考慮しつつ減少に努めています。

## 金融再生法開示債権の状況

(単位:億円)

	27年12月末	28年3月末	28年6月末	28年9月末	28年12月末
金融再生法ベースの不良債権(A)	321	335	328	328	328
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	36	42	44	41	36
危険債権	214	215	208	208	210
要管理債権	69	77	75	79	81
正常債権	9,755	9,759	9,799	9,874	9,920
合計(B)	10,077	10,094	10,128	10,202	10,249
不良債権比率(A)/(B)	3.19%	3.33%	3.24%	3.22%	3.20%

(注)平成28年12月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しています。債務者区分は、平成28年9月末時点における当金庫自己査定による債務者区分を基準としています。ただし、10月1日から12月31日までに倒産、不渡り、延滞等の客観的な事実並びに内部格付による債務者区分の変更等があった債務者については、当金庫の定める基準に基づき債務者区分を見直すことにしています。従って、平成28年9月末の計数とは算出方法が異なるため、計数は連続していません。

## 債務者区分と債権区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権	破綻先・実質破綻先に該当する債務者に対する債権の合計額
危険債権	破綻懸念先に該当する債務者に対する債権の合計額
要管理債権	貸出条件緩和債権及び3カ月以上延滞している債権の合計額
正常債権	上記いずれにも該当しない債権

※当金庫は、債務者に対する債権のうち、回収可能性がないと判断した部分について、直接貸借対照表から減額する「部分直接償却」を実施しています。(なお、6月末、12月末については、当該年度分の部分直接償却を実施していません。)

## 有価証券の時価情報

## 1. 売買目的有価証券

(単位:百万円)

種類	平成28年12月末		
	取得原価	時価	差額
国債	—	—	—
地方債	36	36	0
合計	36	36	0

(注)時価は、期末日における市場価格等に基づいています。

## 2. 満期保有目的の債券

(単位:百万円)

	種類	平成28年12月末		
		取得原価	時価	差額
時価が取得原価を超えるもの	地方債	—	—	—
	社債	—	—	—
	その他	—	—	—
	小計	—	—	—
時価が取得原価を超えないもの	地方債	—	—	—
	社債	—	—	—
	その他	1,000	999	△0
	小計	1,000	999	△0
合計		1,000	999	△0

(注1)時価は、期末日における市場価格等に基づいています。

(注2)「その他」は外国証券です。

(注3)時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めていません。

## 3. 子会社・子法人等株式及び関連法人等株式

— 該当ありません。

## 4. その他有価証券

(単位:百万円)

	種類	平成28年12月末			
		取得原価	時価	差額	
時価が取得原価を超えるもの	株式	3,609	8,927	5,317	
	債券	国債	79,941	83,764	3,822
		地方債	178,661	185,934	7,272
		社債	259,866	267,459	7,592
	その他	44,417	46,189	1,771	
	小計	566,497	592,275	25,777	
時価が取得原価を超えないもの	株式	2,042	1,778	△264	
	債券	国債	5,435	5,238	△197
		地方債	1,603	1,590	△12
		社債	36,683	35,885	△797
	その他	53,857	52,499	△1,358	
	小計	99,622	96,992	△2,629	
合計		666,119	689,267	23,147	

(注1)時価は、期末日における市場価格等に基づいています。

(注2)「その他」は投資信託・外国証券等です。

(注3)時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めていません。

## 5. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券 (単位:百万円)

区分	平成28年12月末
子会社・子法人等株式	878
非上場株式	980
合計	1,859

トピックス(平成28年10月1日~12月31日)

10月3日	「笑顔の定期2016秋冬」の取扱開始
10月5日	安城市市民協働推進基金への寄附に対し安城市より感謝状を受領
10月8日	「旧東海道・ナゴヤドーム周辺清掃活動」を実施
10月13日	「相続・遺言セミナー」を開催(11/14、12/12の計3回開催)
11月1日	平準払終身保険の取扱開始
11月6日~	「台湾周遊満喫の旅」観光旅行を実施
11月9日	株式会社日本格付研究所(JCR)より長期発行体格付「A+」を据置取得(12年連続)
11月12日	「矢作川クリーン作戦」清掃活動を実施
11月14日	「金融円滑化にかかる取組状況(平成28年9月末現在)」を公表
11月15日	「補助金・助成金活用セミナー」を開催
11月16日	「地域密着型金融の取組状況(平成27年4月~平成28年9月)」を公表
11月18日	安城市と見守り事業者ネットワーク事業に関する協定を締結
11月22日	「平成28年度上半期 経営報告会」を開催
11月24日	「へきしん2016年度半期ディスクロージャー」を発行
11月30日	東海市と地域見守り活動に関する協定を締結
12月1日	生命保険(特定保険商品)の代理店販売手数料の開示を開始
12月1日	振り込み詐欺防止のためのキャッシュカードを使用した振込の利用制限を開始
12月9日	「第16回 全国障害者芸術・文化祭あいち大会」に参加
12月15日	「特殊詐欺被害防止キャンペーン(愛知県信用金庫協会主催)」に参加
12月15日	中日新聞「年末助け合い運動」で役職員による募金を実施



「補助金・助成金活用セミナー」を開催  
(11月15日)



東海市と地域見守り活動に関する協定を締結  
(11月30日)



特殊詐欺被害防止キャンペーンに参加  
(12月15日)



中日新聞「年末助け合い運動」で役職員による募金を実施(12月15日)

当金庫では、主要な経営情報を四半期ごとに開示しております。今後とも、積極的な情報開示に努めてまいります。